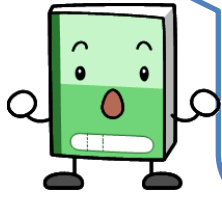


「指導と評価の一体化」のための学習評価（中学校技術家庭 家庭分野のポイント）



学習評価は、学習指導要領に示された教科及び分野の目標を踏まえて、評価規準を作成していきます。

技術・家庭科 家庭科分野の学習評価については、「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方を踏まえて、「題材の目標」及び「題材の評価規準」を作成していきます。さらに、学習指導要領解説等の記述を参考にするなどして、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化することが必要となります。

題材名

健康・快適で持続可能な衣食住

内容のまとめり

第2学年 「B衣食住の生活」

(4)衣服の選択と手入れ

(5)生活を豊かにするための布を用いた製作

手順1 学習指導要領の「2内容」から「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する。

学習指導要領 2内容

知識及び技能	思考力、判断力	学びに向かう力、人間性等
<p>ア 次のような知識及び技能を身に付けること。</p> <p>(ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。</p> <p>(イ) 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。</p>	<p>イ 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。</p>	<p>※ 内容には、学びに向かう力、人間性等について示されていないことから、該当分野の目標(3)を参考にする。</p>

「内容」の記載事項の文末を「～すること」から「～している」と変換すると「内容のまとめりごとの評価規準」にすることが可能です。

「内容のまとめりごとの評価規準 (例)」

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について考え、工夫している。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、実践を評価したり、改善したりし 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 (粘り強さ) ・よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振

	<p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 	<p>り返って改善しようとしている。</p> <p>(学習の調整)</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。 <p>(実践しようとする態度)</p>
--	--	---

○「知識・技能」のポイント

「知識・技能」については、基本的には、目指す資質・能力に該当する事項の文末を「～を（～について）理解している」「～について理解しているとともに、適切にできる」とします。

※「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の「観点ごとのポイント」

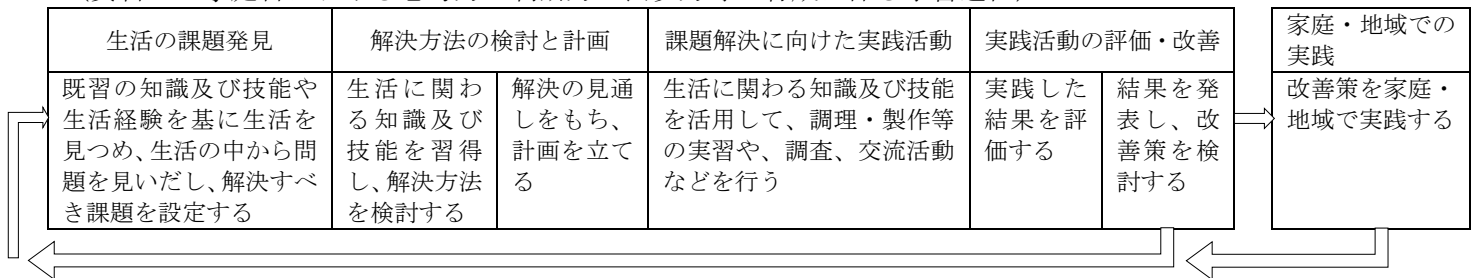
○「思考・判断・表現」のポイント

教科の目標の(2)に示されている学習過程(資料1)に沿って、「課題を解決する力」が身に付いているかを評価します。基本的には、目指す資質・能力に該当する事項について、文末を「～について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている」などとしてします。

○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント

①粘り強さ、②自らの学習の調整、③実践しようとする態度の三つの側面から評価規準を設定し評価します。文末は「～について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている(①)、振り返って改善しようとしている(②)生活を工夫し創造し、実践しようとしている(③)」とします。

(資料1 家庭科における思考力・判断力・表現力等の育成に係る学習過程)



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと

手順2「内容のまとめりごとの評価規準」の考え方を踏まえて、題材の目標、評価規準を作成する。

1 題材の目標

- (1) 衣服と社会の生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作する物に適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

題材の評価規準は、「内容のまとめりごとの評価規準」から題材において指導する項目及び指導事項に
関係する部分を抜き出し、評価の観点ごとに整理・統合、具体化するなどして作成します。

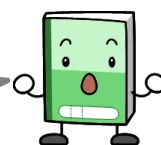
2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<p>衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた布の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

手順3 「指導と評価の計画」を作成する。

学習指導要領解説の記述を参考にするなどして、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化する。

これらを設定することにより、目標に照らして生徒の学習状況を把握することができます。



3 指導と評価の計画(14時間)

- | | |
|---------------------------------|------|
| [1] 衣服の一生 (衣服の選択から廃棄まで) | 1 時間 |
| [2] 衣服選択と着用 (課題1) | 2 時間 |
| [3] 衣服を長く大切に (課題2) | 4 時間 |
| [4] 衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作 (課題3) | 6 時間 |
| [5] 健康・快適で持続可能な衣生活を送るために | 1 時間 |

小題材	時間	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服の一生	1	<p>○健康・快適で持続可能な衣生活を送ることについて問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <p>・小学校での学習や、今までの経験から、衣服を選ぶ際に困ったことや、失敗したこと等の問題を見だし、課題を設定する。</p> <p>・毎日着る制服は、どのように手入れをしているのか、また、どんな手入れの方法があるのかを考える。</p> <p>・着なくなった制服の再利用などについて考える。</p>	<p>1 時間目に題材を貫く課題を設定する場面で評価していきます。</p>	<p>題材全体を貫く課題</p> <p>①健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用などについて問題を見だして課題を設定している。</p> <p>・学習カード</p>	
<p>健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう</p>					

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">衣服の選択と着用</p>	<p style="text-align: center;">2 ・ 3</p>	<p>○衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択について理解するとともに、衣服の選択について考え、工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりについて考える。 <p>・衣服の選択について課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事や活動の際、どのように衣服を選ぶのかを考え、話し合う。 ・遊園地に行く時にふさわしい服装について考え、発表する（共通課題）。 ・組成表示や取扱表示等、衣服の様々な表示について調べる。 ・目的、デザイン、サイズ等を考慮しながら遊園地に行く時にふさわしい衣服を選択し、ペアで発表し、選択を見直す。 	<p>①衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード ・ペーパーテスト <p>②衣服の適切な選択について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>(課題1)</p> <p>①衣服の選択について問題を見いだし課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>課題（課題1・2・3）を設定する場面においてに評価します。</p> <p>②衣服の選択について考え、工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード <p>③衣服の選択について、実践を評価したり、改善したりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>①衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・学習カード ・行動観察 <p>②衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ ・学習カード ・行動観察
<p>4・5 省略</p>				<p>③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">衣服を長く大切に</p>	<p style="text-align: center;">6 ・ 7</p>	<p>○衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解し、適切にできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校で学んだ縫い方を振り返る。 ・まつり縫いとこれまで学習してきた縫い方を比べ、まつり縫いの特徴についてまとめる。 ・まつり縫いによる裾上げ、スナップ付けなどの補修について、その目的と布地に適した方法を考え実習する。 	<p>④衣服の状態に応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。</p> <p><u>指導に生かす評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習布1 ・確認テスト <p><u>記録に残す評価</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習布2 	<p>まつり縫いやスナップ付け等は2回行います。</p> <p>1回目は「努力を要する」状況(C)と判断される子供への手立てを考えるための評価とします。</p>	<p>③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について工夫し創造し、実践しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作</p>	<p style="text-align: center;">8</p>	<p>○衣服の計画的な活用の必要性について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手持ちの衣服を点検し、購入から廃棄までを見通した計画的な活用について話し合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・長持ちさせるための手入れ ・衣服の再利用、リサイクル </div> <p>○自分の生活を豊かにするための衣服等の再利用について問題を見いだし、課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣服等の再利用の製作計画の条件を確認し、課題を設定する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>〈条件〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①小学校やこれまでに学習した技能を生かす。 ②衣服や布でできた物を袋物(バッグ・巾着など)によみがえらせる。 ③計画を含める5時間で製作する。 </div>	<p>⑤衣服の計画的な活用の必要性について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カード 	<p>(課題3)</p> <p>①自分や家族の衣服等の再利用について問題を見いだし課題を設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作計画・実践記録表 	<p>①衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ

<p>衣服等を再利用した生活を豊かにする物の製作</p>	<p>9 ・ 10 ・ 11 ・ 12 ・ 13</p>	<p>○衣服等を再利用し、自分の生活を豊かにする物の製作計画について考え、工夫するとともに、製作することができる。 ・再利用する衣服等の素材や特徴を生かして、自分の生活を豊かにする物の製作計画を立てる。</p> <p>----- (例) ・ワイシャツやブラウスの生地を生かしてバッグや巾着を作る。 などの -----</p> <p>・製作計画に沿って製作する。 ○衣服等を再利用した製作について振り返り評価したり、改善したりすることができる。 ・製作した作品について、自己評価する。</p>	<p>⑥製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、製作が適切にできる。 ・製作計画・実践記録表 ・再利用作品</p> <p>⑦用具の安全な取扱いについて理解しているとともに適切にできる。 ・行動観察</p>	<p>②衣服等の再利用の製作計画について考え、工夫している。 ・製作計画・実践記録表</p> <p>③衣服等を再利用した製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・製作計画・実践記録表 ・再利用作品</p>	<p>②衣服等の再利用の製作計画や製作について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ポートフォリオ製作計画実践記録表</p> <p>③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服等の再利用の製作計画や製作について工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ポートフォリオ〈評価例1〉</p>
<p>健康・快適で持続可能な衣生活を送るために</p>	<p>14</p>	<p>○再利用の作品について発表するとともに、これまでの学習から、健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと(衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用について)をまとめることができる。 ・友達の作品を見て、よいところを相互評価し、参考になるところをワークシートにまとめる。</p>	<p>題材全体を貫く課題</p> <p>④健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・学習カード</p>	<p>④健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・学習カード</p>	<p>④健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。 ・学習カード</p>

- 「思考・判断・表現」については、教科の目標の(2)に示されている学習過程に沿って、次に示す四つの評価規準を設定し評価します。
- ①家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、解決すべき課題を設定する力
 - ②解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力
 - ③課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力
 - ④計画や実践について評価・改善する際に、考察したことを論理的に表現する力

- 「主体的に学習に取り組む態度」については、
- ①粘り強さ
 - ②自らの学習の調整
 - ③実践しようとする態度
- の三つの側面から評価することが考えられます。

〈評価例1〉ポートフォリオ
 主体的に学習に取り組む態度 14時間目 題材を振り返る場面

学習の取組み

振り返り	学習の取組み	振り返り	学習の取組み	振り返り	学習の取組み

持続可能な衣生活を送るために

これからあなたが大切にしていけることは何ですか、(衣服の選択、手入れ、再利用それぞれについて記入しよう。)

適に応じた衣服の選択を考えたり、汚れに合った洗濯をしたり、使えそうなものは再利用したりすることが、健康・快適で持続可能な衣生活を送ることにつながると思うので大切にしていきたい。

今まで学んだ衣服の選択、日常着の手入れ、衣服等の再利用を生かし、よりよい衣生活の実現に向けて、工夫し実践しようとしている場合や生活を豊かにしようとしている場合を「おおむね満足できる」状況(B)と判断します。

観点別学習状況の評価の総括について

(1) 題材の観点別評価の総括

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに示される観点別学習状況の評価は、家庭分野の目標に照らした学習の実現状況を分析的に表するものであり、学習の改善を促す資料となる。

総括を行う際、観点別学習状況の評価に係わる記録が、観点ごとに複数ある場合は、次のような方法が考えられます。

① 評価結果のA, B, Cの数を基に総括する場合

評価結果のA, B, Cの数の多いものが総括した評価となります。

② 評価結果のA, B, Cを数値に置き換えて総括する場合

例えば、A=3、B=2、C=1のように数値によって表し、合計したり、平均したりして総括します。

このほかにも、観点別学習状況の評価に係る記録の総括については様々な考え方や方法があるため、各学校において工夫することが望まれます。

教師が指導の状況を把握して、授業の計画・実践を改善する資料として活用することが目指されています。



【本事例における観点別学習状況の評価の結果例】

題材の 評価規準	知識・技能							思考・判断・表現				主体的に学習に取り組む態度			観点ごとの 総括	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	①	②	③	④	①	②	③		
学習活動 における 評価規準								①							①②③	
指導項目	B(4) ア	B(4) ア	B(4) ア	B(4) ア	B(4) ア	B(5) ア	B(5) ア	①	②	③	④	①	②	③	①②③	
氏名	日付							氏名				日付			氏名	日付
Zさんの 評価	A	A	B	A	A	A	B	B	A	B	B	B	A	A	B	B
評価結果 のA, B, Cの数	A : 5 B : 2 C : 0							A : 5 B : 7 C : 0				A : 1 B : 5 C : 0			B	B
合計	19							29				13				
平均値	2.71							2.42				2.17				

本事例において

①の方法での総括では、「知識・技能」ではA、「思考・判断・表現」ではB、「主体的に学習に取り組む態度」ではBの評価に総括できる。

②の方法での総括では、上記の結果例の場合、A=3、B=2、C=1の数値で各観点の評価を数値化すると、「知識・技能」の平均値は2.71、「思考・判断・表現」の平均値は2.42、「主体的に学習に取り組む態度」の平均値は2.17となる。この場合に総括の結果をBとする判断の基準を $[1.5 \leq \text{平均値} \leq 2.5]$ とすると、「知識・技能」ではA、「思考・判断・表現」ではB、「主体的に学習に取り組む態度」ではBの評価に総括できる。

(2) 家庭分野の観点別評価の総括

題材ごとの観点別評価を合わせて分野ごとの総括とする。例えば、年間に家庭分野で3題材を取り扱った場合、題材1、題材2、題材3の観点別評価を行い、観点ごとに総括して、家庭分野の観点別評価とする。